

17-1 エコマテリアル研究会

「触媒が先導する新しいバイオプラスチックの世界」

<趣旨> 持続可能な物質生産システムの構築と人類の更なる発展を考える上で、再生産可能なバイオマス为原料とした「バイオベースプラスチック」の開発は必要不可欠です。バイオベースプラスチックは石油合成プラスチックの単なる代替を目指すのではなく、新たなコンセプトのもとで、バイオマスからでしか得られない優れた機能や性能を発現させることが重要です。本講演では、これまでバイオベースプラスチックの先頭を走ってきたポリ乳酸の更なる高性能化に向けた取り組み、木質バイオマス成分の高効率な利用を目指した様々な触媒および抽出法の開発と有用ポリマー化、天然には存在しない新規な多糖類の酵素触媒重合など、これまでにない高性能なエコマテリアルの創製を目指した新たな取り組みについて紹介します。この分野にご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。特に、学生諸氏の参加を大いに歓迎いたします。

主催 高分子学会 エコマテリアル研究会
協賛 日本化学会、セルロース学会、日本生物工学会、繊維学会（予定）
日時 平成 29 年 7 月 21 日(金) 13:00~17:00
会場 東京大学農学部フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール
交通 東京メトロ南北線「東大前駅」下車徒歩 1 分、東京メトロ千代田線「根津駅」下車徒歩 8 分

プログラム

- <13:00~13:05> はじめに(運営委員長挨拶) (京都工芸繊維大学) 山根 秀樹
- <13:05~13:45>
1. 非可食バイオマスの高効率変換を可能にする革新的触媒の開発と実用化研究への橋渡し (産業技術総合研究所) 根本 耕司
- <13:45~14:25>
2. 固体酸塩基触媒による糖類からの有用フラン類合成 (北海道大学) 中島 清隆
- <14:25~15:05>
3. 環境適応型プロセスによる植物高分子成分抽出およびその利用 (産業技術総合研究所) 敷中 一洋
- <15:05~15:25> 休憩
- <15:25~16:05>
4. ポリ乳酸の高性能化・高機能化に向けたこれまでの研究開発紹介 (ネオマテリア株式会社) 増谷 一成
- <16:05~16:45>
5. グルカンスクラーゼを利用した高分子多糖類の試験管内合成と熱可塑性プラスチック化 (東京大学) 木村 聡
- <16:45~16:50> 閉会の挨拶

参加要領

- 1) 定員 80 名
- 2) 参加費 ①企業 3,240 円 ②大学・官公庁 2,160 円 ③学生 1,080 円
④名誉・終身・フェロー・ゴールド・シルバー会員 1,080 円
⑤エコマテリアル研究会メンバー無料
- 3) 申込方法 高分子学会ホームページ(<http://www.spsj.or.jp/entry/>)からお申込みください。
参加証、請求書(希望者のみ)を送付いたします。
参加費は、お振込みをお願いいたします。
- 4) 振込先 銀行振込<三菱東京 UFJ 銀行銀座支店(普)1126232 公益社団法人高分子学会>
郵便振替<00110-6-111688 公益社団法人高分子学会>
- 5) その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

問合先 〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル
公益社団法人 高分子学会 エコマテリアル研究会係
TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737

行事参加申込 QR コード
<http://www.spsj.or.jp/entry/>

